

平成25年度 県土整備部環境配慮事例報告書

保全対象種

事業主管課	河川振興課
実施機関	県土整備部(阿南)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	阿南市	
事業の規模・状況	1350 m	小規模事業a 設計段階

【事業の目的及び概要】

総合流域防災事業実施箇所は、河床勾配が非常に緩く、平常時の流れはほとんど見られず、また上流部は地盤高が低いことと相まって浸水被害を繰り返していることから、流下能力を向上するための河道の拡幅や掘削を進めていく。

【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無, モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
			○					○	○

【特に配慮した環境要素と検討事項】

今回実施設計を行った総合流域防災事業実施箇所の上流部には、事前調査にてオグラコウホネ(徳島県版RDB:絶滅危惧Ⅰ類)をはじめコイヌガラン(同:純絶滅危惧)やウマスゲ・アゼスゲ(同:絶滅危惧Ⅰ類)、フサスゲ(同:絶滅危惧Ⅱ類)他多数の希少種が確認されていることから、護岸の工法について環境アドバイザーおよび徳島県植物研究会会長に助言を求め、環境保全措置の検討を行った。

【目標に対する達成状況】

「多様な水生動植物相の保全」を保全目標とした総合流域防災事業実施箇所上流部の護岸設計が立案された。

【検討事項に対する評価】

実施者	環境保全措置を考慮した詳細設計が出来たが、今後工事担当者が環境配慮について十分理解して工事を進めていくことと、施工した箇所のモニタリング調査を行っていくことが重要と思われる。
主管課	河床掘削においては、自然環境の変更を余儀なくされるが、可能な限り影響が出ないように工事を実施していくことが重要である。今後も専門家等に意見をいただき、適切な工事施工に努めたい。

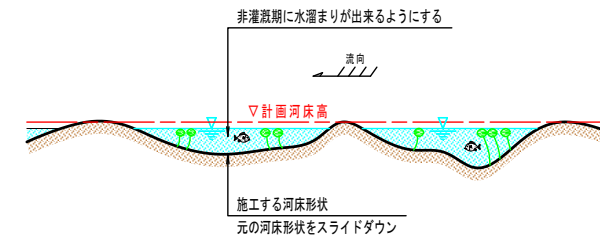


【オグラコウホネ】

日本原産で近畿・四国・九州の湖沼、ため池、河川などの水深1~2mの水域に群生するスイレン科の抽水性の多年草。主に止水域に産するが、河川や水路等の流水域にもしばしば生育する。沈水葉のみの状態でも開花する。花期は6~10月。

写真, 図面等

計画縦断パース図



計画横断図

